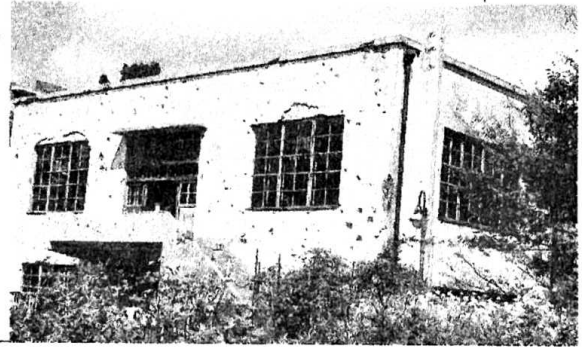


## 2022年12月例会

テーマ：フィールドワーク

### 旧日立航空機変電所から野火止緑道

- 日時：12月11日（日） ※雨天実施（ただしコース短縮）
- 集合：多摩都市モノレール玉川上水駅 改札出た所 午前10時
- コース：玉川上水駅…米軍大和基地の碑…旧日立航空機変電所…  
青年学校跡…南街…瓦斯電バス停  
…東大和市駅…野火止緑道…  
こもれびの足湯…上水小橋…  
玉川上水駅（約4時間）
- 持ち物：昼食、飲み物、敷物、雨具



都立東大和南公園には、旧日立航空機立川工場の変電所が、市史跡として保存されています。変電所の南の壁には、多数の弾痕や断裂痕が残っています。

日立航空機は、1938(昭和13)年に大和村（現東大和市）に移転した瓦斯電を引き継いだ日立製作所の航空機部門の子会社で、戦闘機のエンジンが製造され、立川陸軍航空廠へ納入されていました。57万坪の大工場には、多数の工場建物、変電所、給水塔が立ち並び、13000人が働いていました。

1945年2月から4月にかけての3回の爆撃で、社員、家族、勤労働員学徒、計111名が亡くなりました。この時の爆撃で、変電所の壁にはたくさんの弾痕が残され、厚い壁を突き抜け、内部に達したものもあります。

この変電所は、戦後1993年まで小松ゼノア工場の変電所として稼働され、工場の移転に伴い、「東大和の戦災建造物の保存を求める市民の会」の熱心な保存運動が実って、東大和市史跡として95年指定され、コンクリート壁の爆撃痕をそのまま修復して、保存されました。給水塔は解体されてしまいましたが、ここの入り口に、モニュメントとして展示されています。

2020～2021年には、老朽化に対応するための2回目の補修工事を行い、2階への立ち入りができるようになりました。当日は、ボランティアガイドの方に、説明をしていただきます。

変電所を見学後、周辺を歩きます。南街は、当時の町の人口の4分の1を占め、上下水道完備、劇場や映画館もある文化的な街だったそうです。

東大和市駅からは、野火止緑道、玉川上水へと歩きます。途中のこもれびの足湯で、疲れをいやしてください。

◆参加希望者は 高田まで (090-4535-1540)